



大部っ子

大部小だより

令和6年3月

「やさしく かしこく たくましく」－自ら学び、ともに生きる児童の育成－

文責：学校長



【大部小公式HP】 <http://ono-edu.jp/obe/>

【大部小公式HP】 <http://ono-edu.jp/obe/>

＜三寒四温＞～もうすぐ春…

吉 岡 優

春の足音が聞こえませんか？～“三寒四温（さんかんしおん）”

やわらかい日射しに春が感じられる季節となりました。生命の息吹が感じられる＜弥生（やよい）＞、三月となりました。ちなみに、**三寒四温**の意味は「寒い日が三日ぐらい続くと、そのあと四日間ぐらいは暖かい日が続く」ということです。「冬（3月）にしっかり根を張り、春（4月）に花を咲かせる」そんなイメージです。



大部小の子どもたちは地域の宝です。今、「人生100年時代」といわれていますが、これからの人生を想起するといろいろな事（山あり、谷あり）があると思います。しかし、優しさと笑顔があれば、必ず幸せになれると信じています。私は子どもたちの今後の成長と活躍をこれからも楽しみにしたいと思っています。子どもたちにはこの時期、春に向けしっかり根を張ってほしいと願っています。そして、4月いいスタートが切れるようご支援・ご協力いただければ幸いです。

児童会引継集会～2024. 2. 19. Mon.



大部小だより（デジタル版）第23号でもお知らせしていますが、2/6・火に児童会立会演説会及び役員選挙、2/19・月は児童会引継集会がありました。立候補し、それぞれの役に任命された子どもたちの一人一人からは「学校をよりよくしたい。さらに、楽しい学校にしたい。」という意気込みが伝わってきました。特に引継集会では6年生から後輩に向け、素晴らしい激励のメッセージが贈られ、見事に在校生がその思いを受け取った、そんな瞬間に立ち会うことができました。

しかしながら、児童会活動とは役員だけのものではなく、全校生が自主的、主体的に取り組んでこそ本物の児童会活動といえます。そんな児童会活動が続くことを期待しています。

6年生を送る会～2024. 3. 1. Fri.

3月1日（金）、体育館で6年生を送る会がありました。この活動は厳粛な雰囲気で行う「卒業式」とは異なり、子どもたちの創意工夫を生かして計画される温かな児童会活動です。6年生にとっては卒業を強く実感でき、在校生のためにより良い姿を見せようと努力する活動であり、5年生にとっては「感謝」を伝えて6年生を送り出すだけでなく、最高学年を受け継ぎ、責任と覚悟を養う活動でもあります。



そんな中で、在校生の各学年の発表を見ていると6年生を大いにリスペクトしている様がひしひしと伝わってきて、目頭が熱くなりました。6年生は6年間を振り返ることができたり、一緒に<点字勝負>をしたり、この日のために取り組んできた練習の足跡が見られる楽曲を披露したりとバラエティに富んだ催しとなりました。6年生からはそれに応える歌唱が感謝とともに披露され、クライマックスを迎えたことは言うまでもありません。



実は6年生を送る会の最後にとってもうれしいサプライズがありました。なんと6年生が「校長先生の卒業式」をしてくれました。うれしい<はなむけの言葉>、そして、一人ひとりの心のこもったコメントをもらって、万感胸に迫るものがありました。

さて、4月からは在校生はひとつずつ学年が上がります。6年生は中学校へ進学することとなります。ちなみに、小野市では平成28年度から小中一貫教育に取り組んでいますが、その意味では校舎は違っても、6年生も旭丘中校区の子どもたちです。教職員もそうですが、保護者のみなさんにも<校区の子ども>としてともに末永く見守っていただければ幸いです。

最後に…ありがとうございました！ 本当にお世話になりました

「ありがとう」これは、私が一番好きな言葉です。私は5年間、大部小で管理職（教頭・校長）としてお世話になりました。（さらに言えば、小学校の6年間、この大部小学校で学ばせていただきましたので、計11年間大部小で過ごしたことになります。）<いい子どもたち、いい保護者、いい地域>の三拍子が整った環境で働かせていただいたことを感謝します。

特に保護者の皆様には夏の暑い時期、愛校作業に取り組んでいただいたり、運動会の後かたづけを率先してやっていただいたり、PTA総会には例年300人を超える参加があったりと、ともに同志として子どもに関わっていただきました。その保護者様の姿はきっと子どもたちに響き、勉強や生活に反映されていったと確信しております。ありがとうございました。